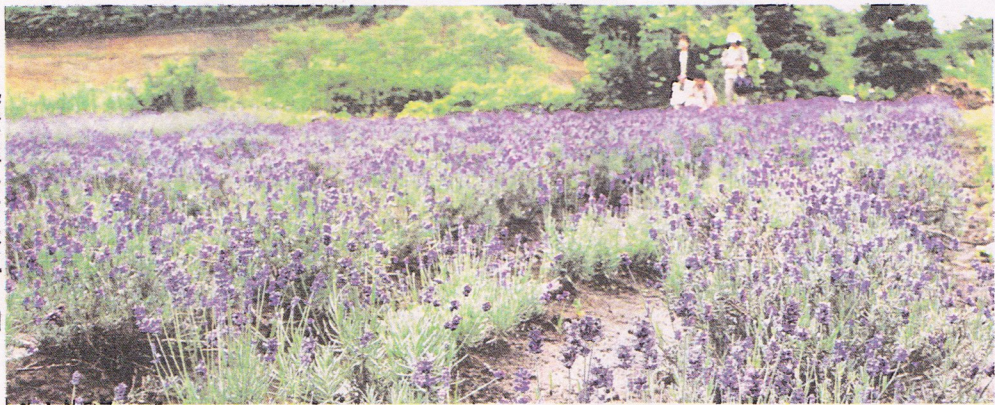


2015年 7月 3日

河北新報



見頃を迎えたラベンダー畑

見頃を迎えた花々の色や香りを楽しむ「ラベンダーの集い」が6月28日、東日本大震災被災地の農地再生を目指す東北コットンプロジェクトの東松島農場(東松島市)であった。昨年からの栽培に取り組む仙台市の企業「あ・らべんだーどっとこむ」が初開催した。畑は約1500平方メートルで、ラベンダーの一種ラバンジンなど4000本が咲きそろろう。苗やハーブティの販売もした。

ラベンダー4000本見頃

東松島農場

夫婦で訪れた名取市の会社員青木賢次さん(50)は「きれいですね」と話しながら、手であおぐように香り確かめた。

同社はラベンダーを利用した医薬品開発などを目指す。吉田直人社長(73)は「認知症改善などに効くラベンダーの良さを広く知ってもらいたい」と話した。

5日午前10時〜午後3時にも畑を一般開放する。